## 回答書

受付番号	回収年月日	回収場所	担当主管課
第 19号	令和5年12月28日	伊予市役所	教育委員会 学校教育課

## 題 目(テーマ): 郡中小学校の改装のお願いについて

## 提案理由(要旨)

子どもが郡中小学校に入学するのですが、先日、建物が古くなり壁や床、ロッカー、カーテンの汚れがひどいと感じざるを得ませんでした。

きれいな教室は子どもたちの心に良い形で影響すると思いますので、掃除ではきれいにしきれない、老朽化の汚れを改装していただきたいと思っています。

港南中学校がきれいに建て替わった際、荒れていた子どもたちが落ち着いたと聞いたことがあります。いじめのない学校づくりのためにもきれいにしていただき、気持ちよく入学させていただきたいです。

よろしくお願いいたします。

## 回答内容

この度は、お子様のご入学おめでとうございます。また、「郡中小学校の改装について」貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

さて、小学校の改修に関しましては、今回ご意見をいただいた郡中小学校に限らず、公立小中学校施設は全国的にも1971~1974年の第2次ベビーブームに建築された築年数が50年程度のものが多く、校舎等の老朽化が大きな課題となっております。

本市においても小学校が9施設、中学校が4施設ございますところ、築年数が 30 年以上となる施設が大半で、各施設とも老朽化が進んでおり、修繕を随時行っている状況でございます。

そのような中、郡中小学校につきましては、2020 年4月に本市が策定した「伊予市学校等施設長寿命化計画」に基づき、今後 2024 年から 2031 年にかけ、校舎単位での改良工事を順次予定しているところです。

工事は、構造躯体部(校舎本体)に影響を与える外壁や床、内部仕上の改良、電気・機械設備の更新をはじめ、ご意見にありましたロッカーやカーテンの更新も、児童の利便性向上を踏まえて学校要望を聞き取りながら進めて参る一方で、学校活動を維持しながらの改良工事となりますため、複数年度にわたる、長期間の工事となってしまう点につきましては、ご理解を頂きたいと考えております。

少子高齢化による人口減少が今後も予想される中、財政的にも厳しい状況でございますため、効率的・計画的に老朽化対策を進める必要があることから、教育委員会として引き続き施設の維持・更新について研究、検討して参りたいと存じますので、今後ともご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。